

2024年5月

# グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、個人消費・企業活動ともに弱さが見られ  
雇用環境にも悪影響が及んでいる

内閣府の月例経済報告（2024年5月27日公表）において、「景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している」との判断が維持された。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に4月の値）に基づき報告する。

## 全国の情勢

① 需要動向に関して、「個人消費」、「設備投資」、「住宅建設」の判断が維持された。「公共投資」に関しては、公共工事請負金額の水準が高く「堅調に推移している」との判断に引き上げられた。

② 企業活動に関して、「倒産件数」、「企業収益」、「業況判断」の判断は、いずれも維持された。「生産」に関しては、自動車メーカーの認証不正問題で落ち込んでいた生産に回復の動きが見られており、「一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、生産活動が低下していたが、このところ持ち直しの動きがみられる」との判断に引き上げられた。

③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。

④ 物価に関しては、「国内企業物価」については、「このところ緩やかに上昇している」との表現に変更された。「消費者物価」については、「緩やかに上昇している」との表現が維持されている。

⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している」との判断が維持された。国・地域別については、1～3月期のGDP発表を受けて、韓国・台湾の景気判断が引き上げられた。その一方で、タイの景気判断は引き下げられた。

## 和歌山県の情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（4月）は、前年同月比1.3%減となり3か月ぶりに前年を下回った。また、近鉄百貨店和歌山店の販売額（4月）も前年同月比3.3%減となり4か月ぶりに前年を下回った。前年に比べて土曜・日曜日数が2日少なかった点や、物価上昇に伴う家計の節約志向の強まりが販売額減少の要因になったものと考えられる。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、4月）は、前年同月比16.4%減となった（4か月連続で10%超の減少）。大手自動車メーカーによる認証試験不正問題を受けて、同メーカーの一部車種の出荷停止が続いており、その影響が継続している。

新設住宅着工戸数（4月）は、前年同月比13.5%増となり、2か月連続で前年を上回った。「貸家」が前年同月比68.9%増と大きく増加した。県内の新設住宅着工戸数の約半数を占める「持家」は2か月ぶりに前年を下回った。資材価格の高騰や物価高の影響で、住宅価格が上昇していることから、全国的に「持家」の着工戸数は低水準にある。

② 企業活動面では、鉱工業生産指数（3月）は前月比6.6ポイントの下降となり、2013年以降の過去最低値を更新した。23年10月に県内製油所の精製機能が停止し、化学工業および石油・石炭製品工業の生産指数が大幅に下降している。さらに、主力業種である鉄鋼

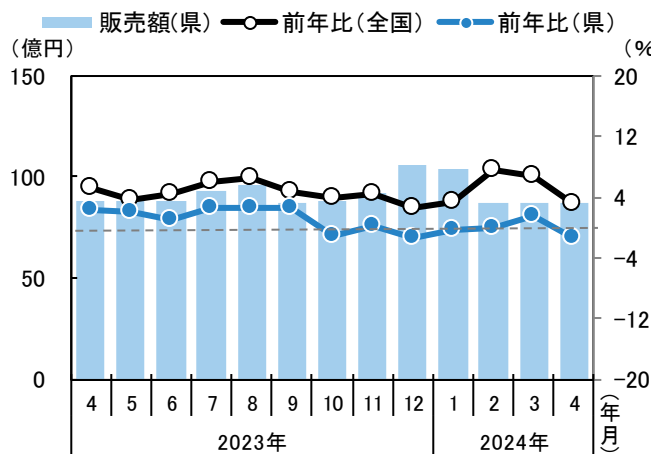
業、機械工業（はん用機械・生産用機械等）の生産指数も低迷している。

公共工事請負金額（4月）は、前年同月比 12.3%減（減少は2か月連続）。前年11月～1月にかけて増加基調にあった公共工事請負金額だが、3月の請負金額は前年同月比 42.2%減と大きく減少したため、2023年度の合計請負金額は22年度を下回った（減少は3年連続）。

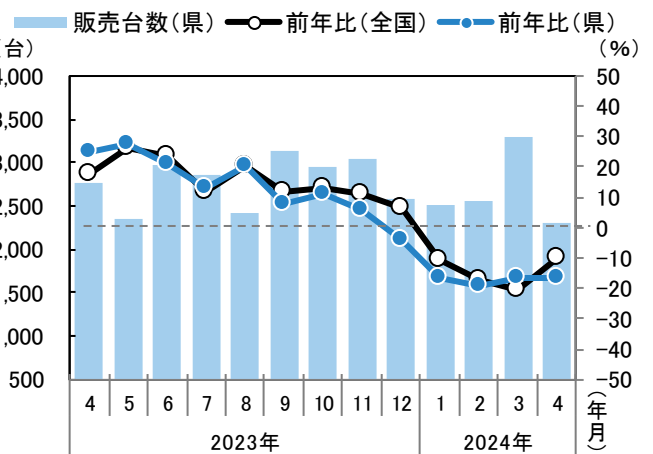
帝国データバンクが発表している県内 TDB 景気 DI（4月）は、前月から 0.2 ポイント上昇した。上昇は 2 か月連続。製造業、サービス業、建設業における業況悪化により、前年12月から1月にかけて景気 DI は大きく落ち込んでいたが、足下では緩やかな持ち直しの動きが見られる。

③ 雇用面については、有効求人倍率（4月）は、前月から 0.01 ポイント下降し 1.14 倍となった（下降は2か月連続）。2月にかけて大きく増加していた有効求人数が2か月連続で減少した。現時点において、和歌山労働局は「求人の一部に足踏み感がある」との判断を維持している。ただし、「物価上昇等が雇用に与える影響に注意する必要がある」と指摘している。

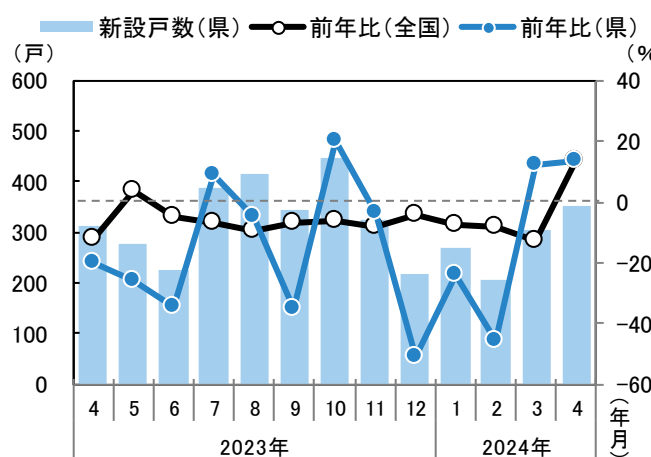
百貨店・スーパー販売額



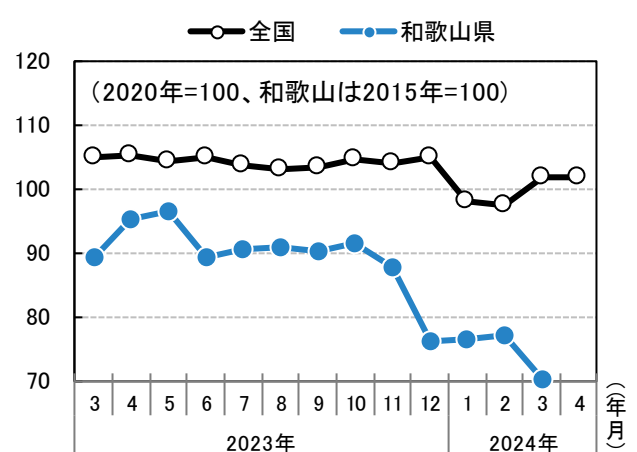
新車(登録車+軽自動車)販売台数



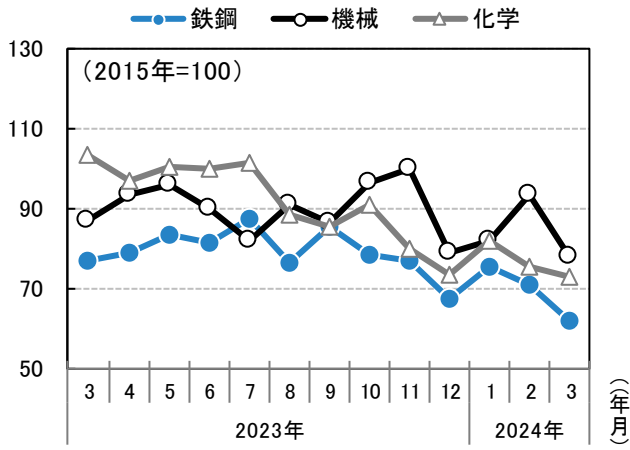
新設住宅着工戸数



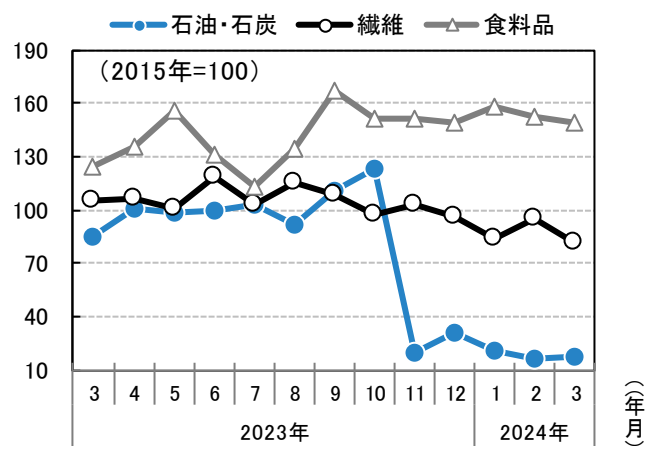
鉱工業生産指数



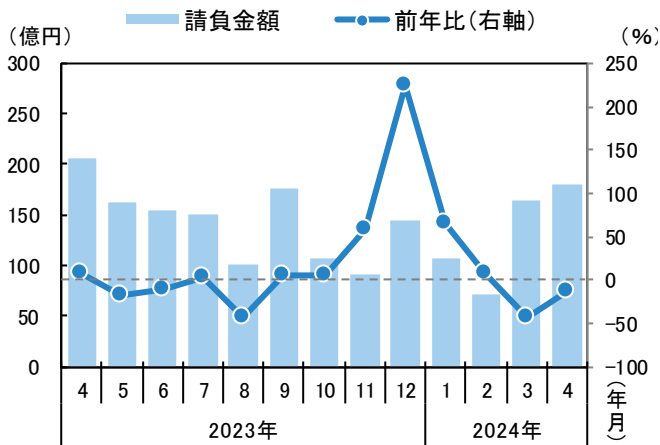
鉱工業生産指数(和歌山県)



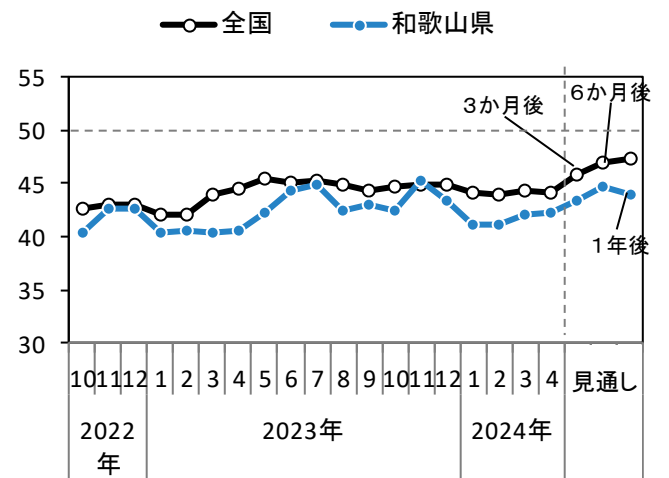
鉱工業生産指数(和歌山県)



公共工事請負金額(和歌山県)

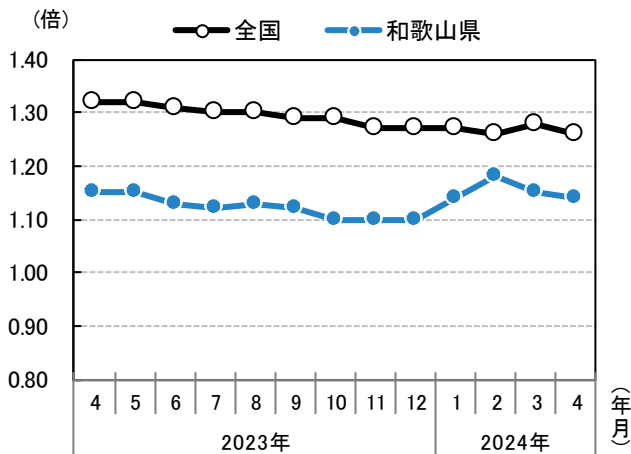


TDB景気DI(判断の分れ目は50)



(資料)株式会社帝国データバンク

有効求人倍率



## (1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2018年	1,211	0.0	-2.1	38,949	0.2	0.7	4,935	-2.3	8.7
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年3月	85.9	3.6	0.8	3,942	12.2	13.2	271	-3.2	-23.2
4月	88.4	5.2	2.2	2,754	17.4	25.2	312	-11.9	-19.8
5月	88.5	3.7	2.0	2,350	26.2	27.2	278	3.5	-25.9
6月	88.5	4.3	1.0	2,973	23.4	20.8	225	-4.8	-34.6
7月	93.4	5.9	2.7	2,866	11.7	12.7	390	-6.7	8.9
8月	96.1	6.5	2.6	2,410	20.2	20.4	415	-9.4	-4.8
9月	87.2	4.8	2.6	3,133	11.9	8.1	346	-6.8	-34.8
10月	88.5	4.0	-1.0	2,941	13.0	11.1	446	-6.3	19.9
11月	92.3	4.4	0.2	3,051	11.2	6.0	325	-8.5	-3.8
12月	106.2	2.6	-1.5	2,589	6.6	-4.0	218	-4.0	-50.9
2024年1月	104.1	3.3	-0.2	2,510	-10.9	-16.3	269	-7.5	-24.0
2月	86.7	7.6	0.0	2,566	-17.2	-19.4	205	-8.2	-45.8
3月	87.2	6.9	1.5	3,283	-20.5	-16.7	305	-12.8	12.5
4月	87.2	3.0	-1.3	2,301	-10.1	-16.4	354	13.9	13.5

(2024年6月3日に取得可能な資料より作成)

## (2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100									公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)		
2018年	114.6	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1,487.6	15.1		
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6		
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5		
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2		
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3		
2023年3月	104.9	89.2	76.7	86.8	103.3	84.4	105.2	124.2	285.3	57.1	40.3	
4月	105.2	95.1	78.6	93.4	96.6	100.3	106.0	135.3	205.7	8.7	40.5	
5月	104.1	96.5	83.5	95.8	100.2	98.7	100.2	155.2	162.9	-17.7	42.2	
6月	105.0	89.1	81.5	89.7	99.6	99.4	118.4	131.5	155.3	-10.1	44.4	
7月	103.5	90.4	87.4	81.8	101.4	102.7	103.3	112.4	150.4	3.5	44.8	
8月	103.1	90.8	76.3	90.6	88.5	91.8	115.1	134.2	101.6	-42.5	42.5	
9月	103.2	90.2	85.1	86.2	85.2	110.2	108.4	167.0	176.8	6.5	43.1	
10月	104.4	91.3	78.5	96.2	90.7	123.1	96.9	151.7	106.5	5.9	42.4	
11月	103.8	87.7	76.7	100.0	79.9	20.1	102.3	150.8	92.3	57.7	45.2	
12月	105.0	76.2	67.1	78.6	73.2	30.3	96.0	148.5	143.9	225.0	43.3	
2024年1月	98.0	76.4	75.3	82.0	81.9	21.0	83.7	157.6	107.7	65.4	41.1	
2月	97.4	76.9	71.0	93.2	75.4	16.0	94.4	151.8	71.5	8.8	41.1	
3月	101.7	70.3	61.9	77.9	72.8	16.9	81.9	149.3	164.9	-42.2	42.0	
4月	101.6							180.4		-12.3	42.2	

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2024年6月3日に取得可能な資料より作成)

## (3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2018年	1.61	1.34	17,355	12,970	19.6	18.1
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2023年3月	1.32	1.16	16,483	14,234	18.5	21.5
4月	1.32	1.15	16,594	14,383	15.4	21.0
5月	1.32	1.15	16,387	14,235	16.5	20.2
6月	1.31	1.13	16,159	14,279	14.0	17.8
7月	1.30	1.12	16,145	14,444	14.1	15.4
8月	1.30	1.13	16,289	14,448	13.3	14.5
9月	1.29	1.12	16,315	14,597	15.4	17.0
10月	1.29	1.10	16,194	14,675	14.8	16.2
11月	1.27	1.10	16,123	14,712	14.9	50.9
12月	1.27	1.10	16,330	14,813	13.0	15.4
2024年1月	1.27	1.14	16,600	14,609	10.8	11.8
2月	1.26	1.18	17,285	14,689	14.1	18.3
3月	1.28	1.15	16,661	14,544	17.1	24.2
4月	1.26	1.14	16,393	14,375	16.5	19.3

(2024年6月3日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。